



● 西山公園 (さいたま市) 撮影/清水省吾

快走

FUKURAM!

☆☆活動報告☆☆

- 3月27日 3月例会 理事会
3月30日 クルマに頼りすぎない社会づくり
(フォーラム)
4月18日 4月例会・理事会
4月23日
福井県健康バイコロジー推進協議会総会
5月15日 5月例会・理事会
5月31日 IRE 懇話会

5月26日は忘れないで来てね!



☆☆今後の予定☆☆

- 5月26日(日)
ROBA総会 記念講演会(藻谷浩介氏)
6月上旬
カーフリーデーふくい2013第1回協議会(案)
6月19日(水) 6月例会。理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

救国のレジリエンス 藤井聡
講談社 1500円+税

レジリエンスとは「しなやかさ」といった意味で、外力に対して変形はするものの壊れずに立ち直っていくようなイメージである。列島強靱化のため、10年で250兆円の公共投資をすればGDPは900兆円になり、災害にも強い列島が形成され財政問題も解決するという内容である。

公共投資の必要性は認めるが、大量の国債を日銀が買い支えたとき、本当に供給力過剰下ではハイパーインフレは起こらないのか、公共事業の乗数効果はいくらなのか。このあたりは専門家同士議論してもらわないと私にはわからない。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

ふくいのりのりマップ第10版発行します MAP部会 林 博

ふくいのりのりマップも第10版となりました。ダイヤ改正が集中する4月1日現在の情報をもとに改訂して、表紙付6,000部、ミニマップ8,000部発行します。

表紙の色は昨年、第9版以降14版までの今後の予定を含めて考えたものに従い、濃いピンクとします(ROBANEWS124の記事が間違いでした)。

第3版 淡いオレンジ	第5版 淡い紫	第7版 淡い緑
第4版 淡いピンク	第6版 淡い黄色	第8版 淡い青

第9版 濃いオレンジ	第11版 濃い紫	第13版 濃い緑
第10版 濃いピンク	第12版 濃い茶色	第14版 濃い青



今回のROBA認定優良バス停は、近年増えている、電車で乗り継ぎを意識したバス停に注目して、認定条件を満たさないものの、準優良認定バス停とも言えますが、今後期待できるバス停を取り上げてみました。

とくに、田原町駅はLRV(FUKURAM)の導入により、より便利な交通結節点となり、今後さらに、相互乗り入れに合わせた整備が行われ、優良認定バス停というよりも、サブターミナルとなることが予定されており、まちづくりに貢献できそうです。

また、日新さんさんバスなどの地域コミュニティバスも、鉄道駅近くに積極的にバス停を設けて、これまでの生活利便施設中心の路線配置、バス停設置に加えて、電車との乗継による便利さをたかめ、地域の足としての広域的なネットワークによる便利さ向上を意識し始めたようで、今後期待して取り上げてみました。これがまさに、LRTへの取り組みだと思い、今後が楽しみです。

のりのりマップの発行は4月末、店頭には連休後半の5月10日ごろから並びはじめました。ただ、表紙の加工に手間取るため(パートさんの手張り)会員の皆さんには、まずミニマップを総会案内と一緒に送りしました。総会では表紙付マップをお渡しできるとおもいますので、総会、講演会への多数のご出席をおまちしております。

「ふくいりんりんマップ」リニューアルしました

林 博

「ふくいりんりんマップ」は2007年度福井市の委託事業として2008年3月に作成いたしました。その後の自転車環境の変化、自転車関連法の改正に伴い、リニューアルを目的として、10月7日に全く新しく再調査「自転車空間実態調査」をスタートし、内田、畑、清水、鳥居（友人の福島）、林照、堤端と私が調査に当たりました。調査費は、「福井県健康バイコロジー推進協議会」および「クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議」から委託を受け、3月末には大幅に改定した「ふくいりんりんマップ2」WEB版として公開いたしました。こちらからご覧ください。

<http://www.mitene.or.jp/~hhayashi/rin2/index.html>

自転車はご存知のように、道路交通法による「軽車両」であり、原則として車道の左側を走行しなければなりません。平成20年6月「自転車の通行に関する交通ルール」改正が施行されこれが徹底されるとともに、平成24年11月国土交通省「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が公開され、遅れていた自転車走行空間の整備により方向性が示されました。

そのため、今回の調査でも車道の路肩を調査しましたが、とても自転車が走行できる路肩はなく、大半がラインを含めて70cm。その構成はL型側溝で車道の舗装との段差もあったりして、クルマに危険を知らせるぎりぎりにラインが引いてあるだけというものでした。その結果、車優先の車道整備がされていることを改めて認識しなおすという結果に終わりました。

そこで、やむを得ない場合の走行を認められている「自転車歩道通行可道路」についても調査を実施しました。これまではその区分があいまいであったため、管理担当する福井県警本部交通部交通規制課に依頼して「りんりんマップ」に指定路線を落としてもらいました。しかし、自歩空間が分離されているものは少なく、途中で途切れて連続していなかったり、とても自転車が走行できる空間でなかったり、という実態も明らかになりました。

また、自転車を移動手段として利活用が進むことを目的に、自転車走行に必要なその他情報（自転車店、コンビニ、トイレ、危険箇所など）を調査し、マップに盛り込むことにより、市民の自転車への利用促進の一助としました。

<今後追加・修正が必要な事項>

- ・歩道の評価が中心で、道路の評価が必要（危険：交通が多く、路側の不十分な片側1車線道路）
- ・駐輪場（ホジロバマップとしては、やはりほしいな！）
- ・歩道通行可の道路評価で、緑の実線を自歩分離又は歩道有効幅員3.5mに戻す（凡例はまだ3mのまま）

道路の種類	
A:歩道のある道路	
②歩道通行できる道	
3m以上	———
1.5m～3m未満	- - - - -
1.5m未満	- - - - -
①歩道通行できない道	
3m以上	———
1.5m～3m未満	- - - - -
1.5m未満	- - - - -
B:歩道がない道路	
道が狭い・交通量が多い・上り坂等、注意が必要な道	———
比較的安全に走行できる道	———

マークの凡例	
>>> 坂道	
×× 自転車通行止め	
★ 危険な場所	
雨 雨宿りできる場所	
WC トイレ	
◇ 踏切	自 自転車店
地下道	交 交番
陸橋	コ コンビニ
高架下道路	公 公民館

 1マスは1km四方を表しています。
自転車でおよそ5分の距離です。

ケントリーくんのあれこれ日記 Part 8



作／漆寄 耕次

先月13日早朝発生した淡路島を震源とする地震でJRのダイヤが乱れ、計画していた旅行日程に影響を受けました。サンダーバード2号は福井を定刻に発車したものの鯖江で運転打ち切りとなり、後続のしらさぎと米原からの新幹線を利用して先に向かうも新大阪と岡山で予定の列車に乗車できず、高松港から女木島に行く船にも間に合いませんでした。次の船まで2時間待ちとなり、これはせっかく高松に来たのだから、駅周辺の商店街を見て来いとのお告げと解釈し、15分程歩いて丸亀町商店街に向かいました。

商店街に行く途中、写真のような立体式自動駐輪場を見つけました。利用できる自転車の寸法や形状に厳しい制限がありますが、都市部でスペースに制約ある所では有効な方法ですので、できれば今後普及してほしいものです。



編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「気持ちがいい季節になったと思ったら、もう夏の陽気です。暑い夏が好きな私としてはタマランです。」

林(変集長)

「さー今から田植えだ。今年は初めてアキサカリを作ります」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>